

春の収穫祭 じゃがいも祭り

6月20日(木)に予定されていたならやま恒例の「春の収穫祭」が、雨の為27日に順延となり、更に前日26日の大雨にもやきもきさせられましたが、無事開催することができました。暑過ぎず丁度良い曇り空のお天気でした。

午前中は、里山G、農園G、景観Gのメンバーが、雨で滞っていた作業へと其々の場所に出かけて行かれました。

この日の為に冬の間から、春野菜栽培の畑の畝作り、肥料のチップ入れ、そして植え付け、水やり、除草、支柱立て等の作業をこなし、意欲的な皆さんのお陰で、立派な春野菜を収穫する事が出来ました。



ベースキャンプでは、女性メンバーが「じゃがいも祭り」のメイン料理、野菜カレーの準備に取り掛かる。男性のメンバー一人が調理に参加して下さったのは嬉しい事でした。

食材は、鈴木さんからご提供頂いた白米に、ならやま産の赤米を炊いたご飯6升。

今年の男爵薯と玉葱は上々の出来栄え、生育の遅れていた人参も順延で十分に育ち、当日収穫した採れ立ての野菜は、色も艶やかで美味しそうな茄子、万願寺とうがらし、モロッコいんげん、大蒜。当会が誇る全て無農薬有機野菜、加えて外国産なれど本物の牛肉。

参加会員61人の胃袋を満たすべく、二つの大鍋に溢れんばかりに具沢山の野菜カレーの出来上がり。ダッチオーブンで焼いた男爵薯、会員さんお手作りの「玉葱のしば漬け」「らっきょう漬け」「切干大根のピクルス」「セロリ、キュウリ、キャベツのピクルス」も提供されました。



午前中の作業を終えてベースキャンプに戻って来られた会員さんは、先ずならやま産の冷たい「梅ジュース」で喉を潤し、ほくほくカレーをお皿に盛り頂きまーす。舌もお腹も心も美味しく満たされた昼食でした。ご馳走さま。

お腹ごなしに皆さん再び午後の作業に出かけて行かれ、本当にお疲れさまです。

2時半頃に作業を終え三々五々ベースキャンプに戻って来られると、おやつ?お土産?の「カレーうどん」と「おにぎり」が待っていました。お腹一杯でもう食べられない?



仕事の疲れを温かいコーヒーで癒し、ならやま大地の恵みと、会員の皆様に感謝の一日でした。

来年の収穫祭も又楽しみですね。

(山中 笙子)